

## 上桑原城環境保全会

(鹿児島県阿久根市)

○ 阿久根市は鹿児島県の北西部に位置し、東経130度12分、北緯32度01分を中心に東西11.1km南北22.4kmと細長く、西部は東シナ海の外洋に面しており、東シナ海沿岸地帯の温暖な気候と土地条件を活用した稲作をはじめ、実エンドウ・ソラマメ・キヌサヤなど豆類園芸作物や大将季・温州みかん・紅甘夏・ボンタン等の果樹を主軸とした農業振興が図られてきた。

○ 当保全会では、耕作者の減少や高齢化等により共同の農業用施設(農道、水路、ため池)の管理が難しくなってきた中で、多面的機能支払交付金事業を活用し、施設の管理や遊休農地の発生防止に努めている。

## 【地区概要】

- ・取組面積：6.3ha  
(田 6.3ha)
- ・資源量：水路 3.7km, 農道 3.0km  
ため池 1箇所
- ・主な構成員：農業者, 自治会
- ・交付金：約31万円(R5)  
農地維持支払19万円  
資源向上支払12万円  
(共同)

1

## 活動開始前の状況や課題

- 耕作者の減少や高齢化及びイノシシやシカ等の鳥獣害により、遊休農地になりうる土地が増加していた。
- 環境保全活動への参加人数が少ない状況であった。
- 施設の老朽化により管理が困難になっていた。



【農道の草払い】



【水路の点検】

## 取組内容

- 農地・水・環境保全向上対策事業(H19~H23)、多面的機能支払交付金事業(H26~)に取り組んでいる。  
(主な取り組み)
- ・農地、農業用施設の点検
- ・農地の草刈り等遊休農地発生防止作業
- ・農業用施設の草刈り、泥上げ
- ・農道への彼岸花植栽による景観形成
- ・異常気象後の点検、応急措置等
- ・鬼火焚き実施による伝統文化の伝承



【景観形成】



【農地の管理】

## 取組の効果

- 保全活動に交付金を用いることで参加人数が増加し、地域一帯の活動となり、耕作者一人当たりの負担が軽減された。
- 自治会と一体となって鬼火焚き等を行うことで地域コミュニティの強化や伝統文化の伝承に貢献した。



【ため池の草払い】



【鬼火焚き】

## きっかけ

耕作者の高齢化と減少、農業用施設の老朽化、鳥獣被害等による遊休農地増加の懸念。

### Step1 (～H18)

#### 上桑原城環境保全会 結成前

○ 農業用施設の老朽化により劣化が進む中、施設を管理する耕作者の高齢化や減少と鳥獣被害の発生により管理が難しくなっていた。

### Step2 (H19～)

#### 上桑原城環境保全会 結成

○ 農地・水・環境保全向上対策事業を活用し、地域資源の保全管理を実施していくため、上桑原城環境保全会を結成した。

### Step3 (H26～)

#### 多面的機能支払交付金事業による活動

○ 多面的機能支払交付金事業となることを受け、地域伝統文化の継承への取り組みを強化。「鬼火焚き」などを通じ、農村コミュニティの強化を促し、地域を活性化。



### 将来に向けて

○ 農業者の高齢化や減少が益々進むと思われる。今後は、周辺集落とより連携を図り、入り作農家を積極的に受け入れて、保全管理の質の向上をめざす。

○ 農地の集積や農業用施設の維持管理等の作業をはじめ、イノシシ、シカ等の侵入防止柵の設置を行い、農家が営農しやすい環境づくりを行い、遊休農地の発生防止に努める。

### 今後の展望

### Step5 (H31～)

#### 更新後の活動

○ 地域資源保全管理構想に基づき、自治会等地域住民と協力しながら地域資源の保全管理に努めている。

### Step4 (H30)

#### 活動の更新

○ H30年度で活動期間が終了することから、総会により事業の継続について協議を行い更新することが決まった。

○ 地域資源保全管理構想を作成して、今後の保全管理の方向性を定めた。

